

## ツバメを守ろう！国際交流ボランティアプログラム “グリーン・ホリデー in 台湾”を開催します

(公財)日本野鳥の会(東京、会長：柳生博、会員・サポーター数約5万人)は、台湾の子どもたちとともに、ツバメを観察しながら湿地環境を守る国際ボランティアツアー第三回“グリーン・ホリデー in 台湾”の参加者募集を開始します。

2015年9月18(金)～21日(月祝)の3泊4日、台湾のNGOや大学生と高美湿地(台中市)の保全活動に取り組みます。また、現地の小学校を訪問し、子どもたちが取り組むツバメの子育て観察について聞きながら交流します。大学生との交流や、環境学習に熱心に取り組む学校(グリーン・スクール)の見学を通じて、ツバメと人が仲良く暮らせる環境を守るために何ができるかを一緒に考えます。

日本と東南アジアを行き来するツバメは、台湾でも幸福の象徴として人々に親しまれています。本企画を機に、日本と台湾の国際協力でツバメが暮らしやすい環境を考え、アジアに広めていきます。

### 《実施概要》

- 名称：ツバメを守ろう！国際交流ボランティアプログラム グリーン・ホリデー in 台湾
- 日程：2015年9月18日(金)～21日(月祝)(3泊4日)
- 対象：18歳以上の一般(定員20名)申し込み先着順に受付。  
定員に達し次第締め切ります。
- 参加費：55,000円/学生 50,000円  
\*航空券代、プログラム中の移動交通費、食費(フリータイムを除く)、宿泊費、教材費を含む

#### ●プログラム(予定)：

- |   |
|---|
| 1日目：日本から台湾(台中市)へ移動、オリエンテーション  |
| 2日目：Activity 1. 高美湿地の見学<br>Activity 2. 湿地を守る活動<br>Activity 3. 子どもたちとツバメ交流   |
| 3日目：Activity 2. 湿地を守る活動<br>Activity 4. 大学生と環境交流<br>Activity 5. グリーン・スクールの見学 |
| 4日目：フリータイム、台湾から日本へ移動  |



### 《プログラム詳細・お申込み、お問い合わせ》

- ◆ホームページからオンラインで、またはFAX、メール、電話でお申込みください。  
申込み先：(株)日本エコプランニングサービス：<http://www.jeps.co.jp>  
電話 03-5807-1691 FAX:03-5807-1692 e-mail: [jeps@jeps.co.jp](mailto:jeps@jeps.co.jp)
- ◆プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。<http://www.wbsj.org/>  
その他プログラムに関する問い合わせ：(公財)日本野鳥の会 TEL03-5436-2633

【プログラム企画】(公財)日本野鳥の会 【旅行企画・実施】(株)日本エコプランニングサービス  
【協力】Ecotourism Taiwan、石川県健民運動推進本部  
この活動はトヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて実施しています。

#### 【本件のプレス関係者様からのお問合せ先】

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
公益財団法人日本野鳥の会 自然保護室 電話：03-5436-2633(月～金) FAX：03-5436-2635  
担当：岡本裕子 E-mail：[okamoto@wbsj.org](mailto:okamoto@wbsj.org) <http://www.wbsj.org/>

## <プログラム詳細>

### **Activity 1.** 高美湿地の自然観察

台中の海岸沿いに広がる高美湿地 (Gaomei Wetland) は、重要野鳥生息地 (Important Bird Area) に指定され、多くの渡り鳥が羽を休めます。ツバメも、この湿地で虫をとったり、巣の材料にする泥を運んだりする姿が観察されています。現地 NGO のガイドで、野鳥や魚、カニなど様々な生きものが暮らす高美湿地の自然とふれあえます。

### **Activity 2.** 湿地を守る活動

近年、高美湿地に外来の植物 (Smooth Grass) が侵入し、急速に広がっています。

そこで、台湾の野鳥の会 (台湾省野鳥協会、Wild Bird Association of Taiwan) と、大学生のボランティアで、外来植物を除去する作業に取り組んでいます。野鳥の会、大学生の皆さんと一緒に、湿地の外来植物をカメラで刈り取ります。

### **Activity 3.** 子どもたちとツバメ交流

ツバメ学習に取り組んでいる高美小学校の子どもたちと街を歩き、ツバメの巣がどんなところにあるか観察します。また、今年の春から夏にかけて子どもたちが実施した、ツバメの子育ての観察結果を聞きながら、交流します。

### **Activity 4.** 大学生との環境交流

台湾の大学生と、ツバメと自然環境を守るために何ができるかを話し合います。

### **Activity 5.** グリーン・スクールの見学

校庭のビオトープや、フクロウの巣箱づくり、上級生による下級生への自然解説など、子ども達とともに熱心に環境学習に取り組む、國光小学校を見学します。

## **国際交流でツバメを守ろう！**

世界各国に広く分布するツバメは、私たちにとってもっとも身近な野鳥の代表です。しかし近年日本では、環境変化により減少傾向にあるといわれています。原因として食べ物になる虫が多くすむ田んぼや農地の消失や、住宅構造が変わり巣をつくる場所が減ったこと等が考えられます。

日本のツバメは、秋の訪れとともに約 4000 km を旅し、東南アジアで越冬します。台湾は、アジア圏のツバメの繁殖地と越冬地、渡りの中継地が重なる「交差点」です。しかし、台湾でのツバメの生息状況は、あまり調べられておりません。台湾の郊外には、かつての日本でどこでも見られたような、緑豊かな田園風景が広がります。町並みは張り出したアーケードが連なり、ツバメが巣をつくりやすい空間を提供しています。しかしここでも、宅地開発等による環境変化が急速に進みつつあります。

そこでこのたび日本野鳥の会では、ツバメをテーマに環境保全ボランティアツアーを実施し、台湾と日本で協力してツバメが暮らしやすい環境を考えていくこととしました。



## 第二回グリーン・ホリデーIn 台湾～ツバメ観察の輪を広げよう リポート

2015年4月25～28日に、第二回グリーン・ホリデーIn 台湾を開催し、高美湿地を守る活動と、子どもたちとのツバメの子育て観察に取り組みました。高美湿地では、日本からの21名の参加者と台湾省野鳥協会、現地の大学生が力を合わせて、合計555㎡を刈取りました。

湿地に隣接する高美小学校と、台中中心部の國光小学校では、子どもたちと家々を訪問し、ツバメの子育てを観察しながら巣の状況や分布を記録しました。國光小学校では、経済的な豊かさだけでなく自然を大切にする人間に育ってほしいという教育方針のもと、校庭に水辺を作り巣箱をかける等、熱心な環境活動が進められています。この春からツバメ学習が始まり、校内には子どもが作成した観察記録ポスターや展示物が多数並んでいました。同校では、上級生が下級生に自然や生きものを案内する活動も行っています。子どもが主役になって自然の大切さを伝える取り組みに、未来への希望を感じました。



### ■現地の声：

#### ●ケビン・ウーさん（台湾省野鳥協会）

日本のボランティアが高美湿地の保全のために台湾に来てくださったことに、感謝しております。短期間ではありましたが、私たちは皆さんが環境保全活動を心から楽しまれていることを実感しました。また、皆さんがツバメの巣を数えながら子どもたちと楽しそうに話しているのを見て、日台の友情が深まったのではないかと嬉しくなりました。9月にまた、台中で一緒に活動できることを、楽しみにしています。

#### ●ディビッド・ウーさん（國光小学校教員）

私たちは人にとって最も身近な存在であるツバメを観察し、その巣や子育ての段階、巣立ちの様子を記録しています。ツバメ学習は、子ども達だけでなく教員にとっても非常にやりがいのあるものでした。私たちはまた、ツバメの生息環境を守る活動に参加された後の日本のボランティアの皆さんの幸せそうな様子を見て感動し、自然を守りたいという気持ちに国境は無く、私たちはひとつの地球にいることを実感しました。体験の共有とご助言をありがとうございました。この活動が私たちを結ぶ絆になったと信じています。9月の活動も楽しみにしています。

